

第7回

深宇宙探査学シンポジウム

—火星着陸のために、いまできること—

日時 ▶ 2016年9月23日(金)
10:00~16:50

会場 ▶ 東京大学柏キャンパス
柏図書館メディアホール
<http://www.k.u-tokyo.ac.jp>

主催 ▶ 東京大学大学院新領域創成科学研究科

共催 ▶ 神戸大学・惑星科学研究センター

プログラム

- | | |
|-------------|---|
| 10:00~10:10 | 開会の挨拶
杉田精司(東京大学 理学系研究科/超小型探査機開発拠点) |
| 10:10~10:50 | 永田晴紀(北海道大学 工学研究院)
相乗り衛星に搭載可能なハイブリッドキックモータの開発 |
| 10:50~11:30 | 小泉宏之(東京大学 新領域創成科学研究科)
超小型衛星用推進系の現在とこれから |
| 11:30~12:10 | 船瀬龍(東京大学 工学系研究科)
超小型衛星による深宇宙探査の成果と将来 |
| 12:10~13:10 | 昼食 |
| 13:10~13:50 | 鈴木宏二郎(東京大学 新領域創成科学研究科)
展開型膜面エアロシェル超小型火星マルチ探査 MAME 構想 |
| 13:50~14:30 | 上野宗孝(神戸大学・惑星科学研究センター)
惑星探査に向けた、多様なアプローチ |
| 14:30~15:10 | 今村剛(東京大学 新領域創成科学研究科)
惑星大気圏の探査 |
| 15:10~15:50 | 臼井寛裕(東京工業大学 地球生命研究所)
火星に関する現状認識 および日本の探査戦略 |
| 15:50~16:30 | パネルディスカッション |
| 16:30~16:45 | 閉会の挨拶
味埜俊(東京大学 新領域創成科学研究科長) |

お問合せ

深宇宙探査理工連携ネットワーク
本シンポジウムは、東京大学大学院新領域創成科学研究科
学融合研究推進調査費ならびに宇宙科学大学共同連携拠点
の支援を受けて開催されます。

Supported by:

東京大学大学院新領域創成科学研究科基盤科学研究系
基盤科学領域創成研究教育プログラム
(CRETS)

